

## 報告書

### 会員研修会 シーカヤックツアーの安全管理

2020年11月6日 アースクエスト 紺野祐樹

開催日 2020年10月21日～22日

開催場所 21日：岩手県田野畑村 北山崎

22日：岩手県久慈市 小袖海岸

主管 アースクエスト

講師 中村 昭彦（一滴 Paddling & Mountain Guide） IT/GT

紺野 祐樹（アースクエスト） IT/GT

参加者 6名（公認スクール代表者及びスタッフ）※22日は5名

#### 実施内容

○それぞれのフィールドに於いて、ツアーの計画から現場での安全管理まで、模擬ツアー形式で総合的に研修を行った。

気象海象の予測値と現場でのズレ、ズレを認識して実際の気象変化をどう考えるのか、また、現在地の掌握や、エスケープできる場所の確認、救助要請の方法、津波からの退避など、ツアーリーダー役の受講者に随時質問を行う形で模擬ツアーを進めた。

ツアーリーダー交代時には、全員でフィードバックを行い、課題の抽出と認識を行った。

#### 所感

ツアー現場に於いて重要な、「想定力」を身につけるためのプログラムを模索して、回を重ねてきたこの研修会も、かなり形が整ってきたと感じました。事前の情報収集、計画作り、現場での修正と、不測事態発生時の対応に関する質問、現在地の確認など、普段実践していることを漕ぐ力のあるメンバーから見たフィードバックは、非常に貴重な物であると改めて認識しました。

北山崎は、逃げ場が少なく、安全マージンがそもそも低いエリアですが、そんなエリアでも常に現在地を把握して、エスケープルート（複数の代替プラン）の確認をし続けながら漕ぐことで、安全を保ったツアーが十分催行できると、その為に何を想定して対策を準備しておけば良いのかが伝わっていただきたいと思います。

条件が厳しかった小袖海岸エリアでは、そもそもの進退の判断や、レスキューの可能性の判断やイメージ、うねりの中でのコース設定、予報とは異なる風速など、不確定要素の多い状況で、非常に実践的な研修ができたと思います。変わり続ける状況に思考が追いつかない

と、ツアープランが崩壊する可能性がある、そんなちょっとシビアな状況が体験できた研修会でした。今後もこのような研修会を継続していきたいと思います。

(アースクエスト 紺野祐樹)

フィールドそのものが厳しかったり、海況が厳しい中での模擬ツアーとなりました。自分が受け持った担当箇所をどれだけイメージし想定し漕いでいくかが、ゲスト役の参加者をうまく誘導し楽しませられるかのポイントになります。そして、普段以上の厳しい場所を漕ぐ中で、頭をフル回転させることで自分の考えを整理するきっかけにもなると思います。フィードバックを通して他の方々からの助言を大切に、今後の活動に一つでも新たな意識を追加していただければと思います。この研修会の担当として、もっと意識を引き出せる方法を模索するとともに、フィールド設定の難しさも感じました。

この研修会も4回目となり、全国から参加していただけるようになりました。今後もこのような研修会を開催し、ガイドの意識向上と交流を図るものにしていきたいです。

(一滴 Paddling & Mountain Guide 中村昭彦)